

授業科目	単位数	時間数	授業内容	担当教員
基礎看護技術Ⅰ	1	30	対象の健康の回復・増進への看護をするうえで必要な基礎的要素、対象との関わり方（コミュニケーション）と医療現場における安全で安楽な看護を提供する技術と知識、態度を習得する。	三浦 緑
基礎看護技術Ⅱ	1	30	対象の健康の回復・増進への看護をするうえで必要な基礎的要素、対象の状況の把握方法（ヘルスアセスメント）と医療現場における安全で安楽な看護を提供する技術と知識、態度を習得する。	土岐 亜紀子
基礎看護技術Ⅲ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な問題解決技術、患者教育技術、知識、態度を習得する。	沼田 礼子
基礎看護技術Ⅳ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な活動や休息、安楽を保つ日常生活援助技術、知識、技術を習得する。	佐藤 瑠未
基礎看護技術Ⅴ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な食事・排泄への援助技術、知識、態度を習得する。	新井田 明美
基礎看護技術Ⅵ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な清潔・衣生活に対する援助技術、知識、態度を習得する。	山口 綾香
基礎看護技術Ⅶ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な薬物療法に伴う援助技術、知識、態度を習得する。	武越 友子
基礎看護技術Ⅷ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な創傷管理と検査・治療・処置に伴う援助技術、知識、態度を習得する。	横山 直美
地域・在宅看護概論Ⅰ	1	30	看護活動を実践するための地域・在宅看護の概念や機能を理解し、看護の対象である地域で生活する人々とその家族を理解する。対象の健康や暮らしを支援するための看護の役割、パートナーシップについて学ぶ。	小杉 理恵子
老年臨床看護Ⅱ	1	30	1. 加齢に伴う特徴を理解し、健康障害の病態や経過を学び、高齢者を対象とした看護援助について看護過程を展開しながら学ぶ。 2. さまざまな健康レベルにある高齢者について理解を深め、効果的な看護を展開する。	山田 世喜子

看護実践の統合	1	30	臨床実践において、複数患者・多重課題に対応できる基本的実践力について学ぶ。	青山 由希子
合計単位・時間数	11	315		
省令で定める授業時間数	9	240		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表